

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちら らと	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			定員としての基本訓練室である。利用者多人数日は活動内の机、いす等の配置調整をする。夏休み、イベント時は地域公会堂で活動している
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基本とした人数に加えて常時3人体制とし、多人数の曜日、イベント時には適宜増員して対応している
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			活動ルーム入口、トイレ等に手すり等付帯設備をし出入口の段差の改修にも配慮している
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			隔月にミーティングをするとともに、適宜発言を聞き取り職員に周知している
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けアンケート調査を実施し、通所日の増加送迎サービスの実行、長期学校休業日の完全送迎サービスの実施。日々の体調管理、生活訓練、学習訓練を重視し業務改善を図っている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	新年度は受ける方向で検討している
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修の参加、資格取得の為の研修参加、強度行動障害等の研修に積極的に参加している
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者と話す機会を設け、アセスメントを取ったうえでサービス計画を作成している
適切な 支援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			個々の特性について内部研修している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			各担当が立案し、みんなで検討し上で計画を立てている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			基本的には固定化によって進めている。季節行事を組み入れ、利用者の参加状況、興味、体調によって随時対応している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			特に長期学校休業日については、所外活動を多く取り入れたり、調理、イベント等をふんだんに組み入れ、子どもたちが大きく成長するよう対応している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			通常は個別対応しながら集団のなかで活動できるようプログラムをたて実行している。長期休暇時は集団活動を組み入れる時期でもあるが体調や天候変化によつての計画修正も臨機応変に対応している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			開始前には職員間で必ず活動内容、変更内容等のその日の流れを確認し合い支援に備えている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日の出来事、ハプニング、利用者の体調、保護者からの連絡事項等をみんなで発言し、内容の把握、確認をし、申し送りノートで共有をしている

関係機関や保護者との連携	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日の全体の記録、個人記録をとっている 相談支援事業所や学校、保護者と連携をとり支援に生かして検証、改善している
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		相談支援事業所と連携をはかり、計画の見直しを判断してその都度、必要性を認識している
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		ガイドラインに書かれている基本を習得し、活動内容を職員間で共有し支援につなげている
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		サービス管理責任者及び支援員の担当者が参画している
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		保護者、学校と連携し、情報交換し合い情報の共有をしている
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在は受け入れは考えていない 将来的には今後の課題である
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		情報共有の必要性は互いに共有し努めている 支援に必要な基礎情報やトラブル発生時には他の事業所との間で支援者会議を実行し、相互理解をしている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	必要を求められれば応じる体制をとっている 個人情報に繋がる場合もあるので慎重に対応したい
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		専門委員からの助言、その他の研修を受けている 個々の問題については、在学中の学校、教職員から情報を得ることや、連携にはニュース交換等で情報を共有している
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		定期的な交流は難しい、学童クラブとの交流も試みて良い結果をもたらした また、地域のイベントに参加すること、文化センター図書館、遊戯室に通うことでそうした機会をつくっている。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		支援員の一人が協議会の委員として参加しており情報交換が活発にできている
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		主として帰宅お迎え時、日々あった事、心配な事、できた事など活動の様子を伝え合う。連絡ノートによって状況の共通理解を深めている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		保護者向けの講演会を行い好評だったので再度開催したい 保護者会において専門支援員による支援を行った
㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用開始時、契約時に十分な説明をしている 内容変更については随時連絡をしている	

保護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		基本的な悩み相談は、学校または医療機関に相談している保護者が多い。 放課後等デイにおいては専門委員からの助言をすることもある。微妙な問題(精神面・要望)にどこまで入り込んで良いか、権限があるかをおしえていただきたい。 特には個別支援計画の更新時において行動の変化等のお話はさせて頂いている
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	全体行事(夏祭り等行事、地域行事)において参加を呼びかけ、お手伝いをお願いする中で保護者間の交流の機会に役立ててもらえるよう配慮している 単独では交流活動支援はしていない
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情解決マニュアルに沿って速やかに解決をする 微妙な出来事については相互関係を理解し早急に対応し、改善策をたてる。良い関係を保つよう努力し、結果を報告するように対応している
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月カレンダーで活動内容を周知し、ナイスディニュースによって近況の活動内容、行事、連絡事項を知らせている。長期の学校休業日時は臨時会報で知らせている
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報のマニュアルに沿って取扱いに注意している
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		連絡ノート、ナイスディニュースの発行によって情報伝達の補完をしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		ナイスディニュース等近隣地域町会等にお配りし啓発している。大きな行事の際は参加を呼びかけている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		緊急時、引取り訓練等の配布をしている。活動ルームにファイリングして周知している
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に(3か月に1回)避難訓練を行っている 全ての通所曜日を対象に行っていきたい 防災館で地震、火事等の体験訓練をさせている
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		*チェックリストを支援員間で共有する *トラブルを起こした場合は原因究明する *家庭ではどのような対応しているのか聞く *事業所であらゆる場面についてシュミレーションする必要がある *その子の特性をよく理解し、場面を検証し、同じ行動が起きないように支援員皆で話し合う *サービス計画を見直し記載する
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		*当事者、相対する人物、物体に損害、損傷を与える危機感がある時 *各支援者会議をし、対処、理解、対策を共有する *保護者との話し合いで理解を深め対応策を個別支援計画に反映していく
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		安心サポートとして入所時に保護者からアレルギーの有無を聞いている。それは医師の診断に基づく指示書として読み替えている
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事例集を作成し、職員に周知徹底している